

キュウリの環境と人にやさしい栽培 マニュアル

(有機液肥による化学肥料削減と常
温煙霧機およびドローンによる遮光
剤散布による省力化)

令和7年3月

越前しきぶタウン推進協議会

1. 有機質液肥による化学肥料削減

1) 使用方法

- ・多木有機液肥 11 号を追肥時から使用する。

2) 価格

- ・1 袋 20kg 入り 5,300 円程度 (税込み)

3) 特徴

- ・さらさらとしており詰まりにくく、においもない
- ・収量品質は慣行とそん色はない

4) 注意点

- ・JAS 資材には登録されていない



2. 常温煙霧機

1) 使用方法

- ・ハウススプレー（有光工業 LVH-15CNH-2）のフォガー部分を、ハウス内に設置し、コンプレッサー部分をハウス外側に設置する。なお、煙霧をハウスに充満させるためフォガー先端に専用のダクトを設置する。
- ・タイマーにより夕方から散布を開始し、翌日朝まではハウスを締め切る。



フォガー部



コンプレッサー部



フォガーへのダクト設置により均一に散布する



タイマー

2) 価格

- ・有光工業 LVH-15CNH-2 1,183,050 円（税込み）メーカー希望小売価格

3) 効果

- ・アフェットフロアブルを常温煙霧機で散布した結果、べと病の進展を止める効果が確認された。
- ・機械をセットすれば、タイマーにより自動で農薬散布ができるため労力低減効果が高い。

4) 注意点

- ・LVH-15CNH-2は3相200Vの電源が必要である。
- ・常温煙霧機は殺虫剤での登録農薬が少ない。
- ・現行のLVH-15CNH-2からモデルチェンジされる可能性があり、その際は価格が現行機より上がることが予想される。

3. ドローンによる遮光剤散布

1) 使用方法

- ・遮光剤「ファインシェードスカイ」を500㎡までのハウスなら1袋(8L)散布する。
- ・散布にドローンを用いた場合、作業は300㎡程度のハウスであれば15分程度で終了する。
- ・散布時期はファインシェードスカイの効果が3か月程度であるため6月に行うことが望ましい。



2) 価格

- ・ファインシェードスカイ 1袋 (8L入り) 19,800 円(税込み)
- ・ドローン利用料 1,793 円/10a (税込み)

3) 効果

- ・施設の面積が大きくなるほど程度は下がるが、無散布と比べ温度上昇を防ぐ効果がある。

4) 注意点

- ・散布を8月に行った場合、秋以降(9月)の収量・品質が低下する可能性がある。
- ・遮光剤のほかに遮熱剤が市販されており、コストと収量・品質向上の観点から、今後検討が必要である。